令和８年

奥州市教育委員会会議録

第４回定例会４月24日招集

奥州市教育委員会

１　開会、閉会等に関する事項

開催日時　開会　　令和８年４月24日(金)午後３時

閉会　　令和７年４月25日(金)午後３時56分

開催場所　江刺総合支所４階特別会議室

２　出席委員当の氏名

	髙　橋　　勝	教育長
１番	佐々木　哲　也	委員（教育長職務代理者）
２番	松　本　　崇	委員
３番	菊　地　　幸	委員
４番	猪　股　登喜子	委員

３　説明のため出席した職員の職及び氏名

佐藤裕恵教育部長、佐藤由雄教育総務課長、千田有美学校教育課長、菅野明史学校教育課主幹、吉田俊彦歴史遺産課長、千葉一茂協働まちづくり部生涯学習スポーツ課長

事務職員出席者　丸山深幸教育総務課課長補佐

４　本日の会議に付した事件（議事日程第１号）

第１　会期の決定

第２　教育長報告

(1) 奥州市教育委員会の所管に属する附属機関の令和７年度下半期における審議等の状況について

(2) 令和８年度小・中学校学級編制について

(3) 令和８年度教職員定期人事異動について

(4) 生徒指導について

第３　議案第１号　奥州市教育委員会の所管に属する教育機関の長の任免に関し議決を求めることについて

第４　議案第２号　議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出に係る臨時代理処理に関し承認を求めることについて

第５　協議事項　令和８年度教育行政方針（案）について

５　会議の概要

開会、会議成立宣言、本日の会議日程について「議事日程第１号」により進めることを宣言、秘密会とする議決（教育長報告「生徒指導について」）、秘密会とした教育長報告「生徒指導について」は、学校ごと又は児童生徒の個々の状況に関わらない部分のみを公表することの議決、議案の審議、閉会

第１　会期の決定について

本日１日と決定

第２　教育長報告

(1) 奥州市教育委員会の所管に属する附属機関の令和７年度下半期における審議等の状況について

○佐藤教育部長が資料に基づき一括して説明

【要旨】

・ 令和７年度上半期の状況については、昨年10月の定例会において報告しているが、今回の報告は、同年度下半期における各附属機関の審議内容等についてお知らせするものであり、付議案件及び審議の状況や会議における提言の概要について報告するもの。

【質疑等】

なし

○ 「(2) 令和８年度小・中学校学級編制について」及び「(3) 令和８年度教職員定期人事異動について」を千田学校教育課長が資料に基づき一括して説明

【要旨】

(2) 令和８年度小・中学校学級編制について

●小学校

・ ４月３日現在の児童数の合計は4,495名で、昨年度から253名の減である。
・ 単式の学級数は170学級で、昨年度に比べて９学級の減となった。
・ 複式学級数は３、田原小学校１・２年生と３・４年生、衣川小学校の２・３年生である。
・ 柔軟な学級編成で水沢小と前沢小の６年生が標準３学級であるところを４学級編成とし、落ち着いた最終学年での生活を狙った編成としている。
・ 特別支援学級の数は67学級で、昨年度から３学級の増である。児童数は273名で、昨年度より３名の増である。全体の児童数が減少している中、特別支援学級の児童数は増えている。全児童に占める割合は、6.1％である。市では特別支援教育支援員を配置しているが、今年度は15校に対して41名を配置しており、昨年度から１名減である。

●中学校

・ 生徒数の総計は2,586名で、昨年度から59名の減である。
・ 単式の学級数は78学級で、昨年度に比べて３学級の減となった。
・ 特別支援学級の数は28学級で、１学級の増である。生徒数は128名で、昨年度より17名の増である。全生徒数に占める割合は5.0％である。市では特別支援教育支援員を６校に15名配置しており、昨年度から５名増である。

●幼稚園

・ 唯一の公立幼稚園の小山東幼稚園が休園しているため、省略。

(3) 令和８年度教職員定期人事異動について

・ 退職者数は小・中合計で32名であり、昨年度より３名の減である。今回は、定年退職者がない年ではあるが、普通退職者が８名おり、例年より若干多い状況。
・ 奥州市内での異動者数は23名で、昨年度より13名の減である。他市町村への転出は53名で、昨年度より10名の減である。他市町村からの転入は59名である。新規採用数は21名で、昨年度より４名多い配置となった。
・ 管理職等への昇任は、校長に４名、副校長に８名、主幹教諭に１名、事務長に２名の合計15名の昇任があった。
・ 全体の異動総数は188名で、昨年度に比べ７名の減である。退職を含めた「出」が66名、新採用を含めた「入」が77名で、教員数は昨年度より31名の減である。

【質疑等】

松本委員

前小と水小で柔軟な学級編成を行っているということだが、そうであっても教員の数は増えないものか。

千田学校教育課長
　前小は、前年度から、次年度は４学級でスタートしたいと伺っていたため、１名増での配置としたが、水小は３月末に決まったため、人事異動の時期に間に合わなかった。しかしそれでは大変だろうということで、県にお願いして、半日勤務の非常勤の先生を１名配置することになった。
髙橋教育長
　水小はそもそも加配が多い学校のため、なんとかやりくりは可能との判断だろう。
猪股委員
　東水沢中の３年生はプラス１なのか。
千田学校教育課長
　東中の編成は、先ほどの小学校とは逆で、４学級分の人数はいるが３学級でいくというもの。年度替わりで転入生があり４学級の人数に達したが、２年生から３年生という通常であればクラス替えがない学年であり、今現在集団として上手くいっているのでこのまま生活させたいという校長先生の考えから、教員は１人増えてはいるが、３学級で運営するという形の柔軟な学級編成とした。
髙橋教育長
　中学校は２年生から３年生は通常クラス替えはないため、こういった事例は多い。逆に小学校でも５年生から６年生は持ち上がりだが、生徒指導上この形がいいという判断をしたと思うので、様子を見ていきたい。
佐々木委員
　特別支援学級の教員の定数の考え方を伺いたい。
千田学校教育課長
　一学級一人という考え方となるため、学級数イコール教員数となる。
髙橋教育長
　最近は一人在籍の学級がどんどん増えており、教員もそれに伴い増えている。

(4) 生徒指導について

○ 千田学校教育課長が資料に基づき一括して説明

以上で教育長報告を終わる。

第３　議案第１号　奥州市教育委員会の所管に属する教育機関の長の任免に関し議決を求めることについて

○ 佐藤教育総務課長が議案を朗読、佐藤教育部長が提案理由等の説明

【提案理由等】
・ 本議案は、教育委員会の所管に属する教育機関の長の任免について、当委員会の議決を得るため、提出するもの。今回の任免の内容としては、現在の東水沢学校給食センター所長である髙橋寿幸氏を令和８年５月１日から新しく設置する奥州西学校給食センターの所長に任命し、その髙橋氏の後任として、東水沢学校給食センターの所長に 朝日田倫明氏を任命するもの。

【質疑等】
　なし

【討論】
　※人事案件につき省略

採決の結果、原案どおり決することに全員異議なし

原案可決

第４　議案第２号　議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出に係る臨時代理処理に関し承認を求めることについて

○ 佐藤教育総務課長が議案を朗読、佐藤教育部長が提案理由及び詳細説明

【提案理由】

・ 令和８年第２回奥州市議会臨時会において、市議会の議決を経るべき事件の議案を作成することについて、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、市長から当委員会の意見を求められたが、教育委員会を招集するいとまがなかったことから、「奥州市教育長に対する事務委任等に関する規則」の規定に基づき臨時代理処理を行い、市長に対し意見の回答を行った。この処理に対し、同規則の規定により当委員会の承認を求めるため、本案を提出するもの。

【詳細説明】

・ 令和８年第２回奥州市議会臨時会に市長が提案した議案のうち、教育委員会に関するものは、報告が１件である。
・ 報告第１号「議会の議決を経た工事請負契約の変更に係る専決処分の報告について」は、令和６年12月17日に議会の議決を経て締結した「仮称奥州西学校給食センター新築機械設備工事」の請負契約について、厨房機器の仕様が確定したことに伴い、厨房の排気フードを変更したことなどで工事費の増額が生じたことから、地方自治法第180条第１項の規定により、令和８年２月17日付けで、当初契約額に919万６千円を追加し、変更後の請負金額を７億４千69万６千円とする変更契約の締結に係る専決処分をしたもの。
・ 令和８年第２回奥州市議会臨時会に市長が追加提案した議案のうち、教育委員会に関するものは、議案が２件である。
・ 議案第８号「令和７年度奥州市一般会計 補正予算（第14号）」は、10款教育費に関しては、歳出を５億２千365万７千円減額し、予算総額を 92億５千916万２千円とするもの。
・ 議案第10号「令和８年度奥州市一般会計 補正予算（第２号）」は、10款 教育費に関しては、予算額の増減はなく、財源内訳の変更のみとなる。仮称奥州西学校給食センター新築工事の工期延長に伴う追加経費に充てる財源として弁償金726万円を計上し、その同額を一般財源から減額するもの。

【質疑等】

松本委員

予算がだいぶ減額になっているが、これは、上手く経費を抑えられたということなのか、執行できなかったということなのか伺いたい。

佐藤教育総務課長

やるべきことはやった上での減額。

松本委員

好ましいことということか。

佐藤教育総務課長

そのとおり。

髙橋教育長

事業が確定して、予算の残を減額したもの。この時期の減額補正は概ね同様の理由。

【討論】

なし

採決の結果、原案どおり承認することに全員異議なし

原案承認

第５　協議事項　令和８年度 教育行政方針（案）について

○ 佐藤教育総務課長が朗読をもって説明

【意見等】

猪股委員

「学校教育の充実」の最初のところで、今年度は、はじめに土台を述べてから４つの柱を説明しているところが、昨年度と比較して一歩進んだ形でよかったと思う。それから、資料56ページの右側の４つの柱のうち、「郷土への誇りや愛着の醸成」の項目は、それ以降の詳細説明に合わせて、後ろにきたほうがいいのではないか。

千田学校教育課長

４つの柱は並列であり、ふるさと学習が今年度からスタートするということで上の方に持ってきたものではあるが、ご指摘のとおり、その後の文章の流れからすると、一番後ろに持ってきた方が分かりやすいと思う。

髙橋教育長

確かにその方が分かりやすいと私も思ったので、検討させていただきたい。

佐々木委員

例えば「特別支援教育コーディネーター」、「特別支援教育支援員」、「フロンティア奥州」などの、市で使っている個別名称について、新しい議員さんなどは分からない方もいると思うので、時間の制約もあって難しいとは思うが、少しでも解説的なものがあれば聞きやすくはなるかなと思った。

髙橋教育長

「フロンティア奥州」は上の方で校内教育支援センターと説明はしているが、枕詞とした方がいいかもしれない。特別支援の関係は、市の職員なのか、学校職員なのかという違いもいろいろあるが、説明を入れるとくどくなりそうな気もする。検討させていただきたい。

佐々木委員

議員さん方には文書でお配りするのか。

事務局

データで配信される。

佐々木委員

※印で注釈を入れる等はできるか。

事務局

読み原稿であり、今まではそのような形はとっていない。

髙橋教育長

専門用語が結構あるので、何かいい手があればと思うが、市長演述との兼ね合いもあり、市長部局との調整が必要。今回すぐというのも難しいかもしれない。貴重なご意見として頂戴する。

本日の意見を基に事務局において再度調整を行い、最終調整については教育長への委任事項とすることに全員異議なし

髙橋教育長

令和８年度教育行政方針は、最終的に５月下旬の庁議にて決定となり、６月５日に招集予定の令和８年第２回市議会定例会において発言する。

閉会